

第3回 健康維持増進住宅研究委員会

議事要旨

平成20年10月23日(木)13:00～15:00

経済産業省別館10階1028号室

5

次 第

1. 国土交通省あいさつ

住宅局長 和泉洋人

2. 委員長あいさつ、

少子高齢化時代における健康サービス向上に向けた住宅・コミュニティのあり方

10

独立行政法人建築研究所 理事長 村上周三

3. 委員紹介

4. 議事

15

(1) 部会の活動報告

1) 健康影響低減部会

2) 健康増進部会

3) 設計部会

4) 健康コミュニティ推進部会

20

(2) 普及促進委員会活動報告

(3) 質疑及びフリーディスカッション

(4) その他

5. 閉会

25

配 付 資 料

資料1 次第

資料2 第2回 健康維持増進住宅研究委員会 議事要旨(案)

資料3 健康維持増進住宅研究委員会 委員名簿

資料4 健康維持増進住宅研究委員会 組織図

30

資料5 健康影響低減部会

資料6 健康増進部会

資料7 設計部会

資料8 健康コミュニティ推進部会

資料9 普及促進委員会活動報告

35

資料10 健康維持増進住宅研究ロードマップ(案)

6. 議事概要

6-1 国土交通省住宅局長あいさつ

5 発足以来1年半が経過し、調度中間点に当たる。この間、コンソーシアムが出来、シンポジウム等で広く情報発信を行い、また今後は設計コンペや出版等が計画されている。日本の住宅政策の大きな思想的な中心になるような成果を期待している。委員の先生方も是非ご協力をお願いしたい。

6-2 委員長あいさつ

10 「少子高齢化時代における健康サービス向上に向けた住宅・コミュニティのあり方」と題して、高齢化を迎える人口推移、社会保障給付額の増加、少子高齢化を迎えての、健康維持増進住宅研究のあり方、推進体制(組織)、及び設計コンペ計画に関して、報告があった。

6-3 部会報告として、4部会の部会長から、報告があった。(詳細は省略)

15 6-4 質疑(概要)

1)東嶋委員

電磁波・放射線に関する研究計画及びラドン濃度の実態についての見解について

20 池田委員からのレクチャー及び放医研の全国調査研究があることも承知している。シックハウスほどの影響は無いと認識しているが、引き続きラドンの健康影響については、検討をしていきたい。

2)富田(建産協)委員

建産協では、VOC や抗菌性の認証制度をスタートさせている。今後を見込んで、他で行っていると思われる健康関連の認定制度等も合わせて(一括して)、評価業務をやっていただくと有り難いが。

25 系統的には健康影響部会あるいは健康コミュニティ推進部会が中心になってくだろうが、次の機会に報告したい。(吉野)

委員会では、新たな制度を発足させるようなことは当面考えていない。(吉野)

3)村木委員(ガス協会)

30 ガス協会は、エネルギー供給のみならず、商品開発や消費者の動向等の研究も行っている。積極的に協力をしていきたい。

今後とも協力をお願いしたい。(村上)

4)坂本(功)委員

35 健康影響低減部会の報告のうち、日本は浴槽での溺死が多いが、一方欧米ではバスタブには湯を一杯張らないので、溺死はしないであろう。統計結果からは原因をいかようにも出さるので、対策を検討する時には、留意されたい。

先生のご意見を踏まえ、今後留意して分析等を行いたい。(村上)

5)小谷部委員

健康増進という視点でのアイデアコンペというものが一般の建築コンペと異なり、興味深い。モ

デル住宅が計画されている。設計コンペとの関連性や審査手法、及び効果についてお聞かせ願いたい。

アイデアをそのままモデル住宅に採用することはないであろう。しかし、モデル性が高い、波及効果が期待できる、またユニークで個性が高いものも全国に紹介をしたい、という趣旨である。

5 沢山の応募があることを期待し、設計部会の体系化の中に役立てていきたい。(村上)

6)米田委員

設計部会でレベル 最低限 誘導的 個人、の意見の3段階で尺度を設定されたことは面白い。一方、一般にいろいろ言われていることを専門のソフトで集計分析をされているのが、その結果の活用先を教えてください。

10 結果から参加されている企業の方々に何かを構築してもらいイノベーションのもとになるようなキーワードを整理することが重要と考えている。アイデア創出のための種を部会の中で整理して、企業の方のヒントになれば有り難い。(田辺)

15 バリアフリーでも万人にとって好ましいかといえばそうではない。検討してきたが、設計コンペの中で我々が気がつかなかったことが出てくる事も期待する。部会活動の中で、検討を進めて行く。(小泉)

(星)

1)2050年を視野に置くならば、手洗い、うがいが大事で、もう少し前面に打ち出して欲しい。

2)タミフルの8割を日本が消費しているなど、検査漬けと薬付けの今の日本の状況を是非グローバルスタンダードな視点で見たい。最終的にはインフォームドコンセプトでなく、イン
20 フォームドチョイスでいいと思っている。

3)末期のケアを在宅においた建築設計、住まいのあり方も入れて頂きたい。

4)家族が食卓を囲み、食事を楽しむ、豊かに生きる原点になる家族をもっと視野に入れた検討をお願いする。

5)報告の中には、設計者の役割と個人、家族の役割の棲み分けを入れて頂きたい。(星)

25 今の頂いたご意見を広く知って頂くために、分かりやすい書籍にして来年度刊行したい。(村上)

7)石川委員

30 以前はホルムアルデヒド対応であったが患者さんは殆どみなくなった。最近米国等の会議でナノ粒子問題が上げられており、先生方で考えて頂きたい。この委員会では是非将来的に非常にデジタルイズして、多角的に判定するチェックリスト、インベントリースを是非作って頂きたい。

8)その他

1)平成21年3月26日(木)14:00~シンポジウム

2)平成21年3月30日(月)15:30~第4回委員会
を開催する。

35